

平成20年度 一般会計補正予算 (第9号) 委員長 師田 保

歳入歳出それぞれ1,225万円を追加して総額を66億133万8千円とする。
繰越明許費3事業計1,247万1千円を年度内未完了から翌年度に繰り越す。
都市公園事業の地方債を2,430万円から2,160万円に変更、工事費を600万円減額する。

歳入の主なもの

- 町 民 税 個人分3,500万円、法人分2,500万円を不況から減額。
- 固定資産税 4,000万円増は未調定分。
- 国庫支出金 交通安全施設等調整事業275万円減、まちづくり交付金910万円増。
- 県 支 出 金 国土調査事業116万3千円減。
- 財 産 収 入 町有地売却収入449万5千円増。
- 繰 入 金 財政調整基金2,420万円増。

歳出の主なもの

- 総務費 中学生海外派遣事業5名減240万円減、光学文字読取機器買換え399万円増、三俣地内調査区域の縮小による500万円減、克雪すまいづくり支援事業補助金申請減により166万8千円減、減価償却費修正申告減等による過誤納金還付金200万円増。
- 民生費 重度心身障害者医療費1名入院による150万円増、養護老人ホーム運營業務（魚沼荘）利用者減350万1千円減。
- 衛生費 粗大ごみ特別収集運搬（量の減少）211万6千円減、特別収集管理20万1千円減。
- 商工費 信用保証料補給金増100件分2,000万円増、大源太キャンプ場トイレ改修の翌年度へ見直し260万円減。
- 土木費 消雪施設修繕料 消雪ポンプ3台修繕1,100万円増、都市再生整備計画策定150万円減、都市計画基礎調査調査不要209万5千円減、中央公園指定管理料（燃料高騰分）132万3千円増。
- 教育費 学校耐震二次診断耐震分84万円増、土樽小学校特別支援教室整備45万円、備品20万円。中学校建設基本構想500万円減。

主 な 質 疑

- ◎：繰越明許費の地域防災事業150万円の予算に対して30万円の増額補正理由。
 - ▲：地域防災計画見直し事業は150万円で契約したものの今後30万円の変更が見込まれることから補正を行った。
- ◎：交通安全施設整備事業500万円が補助事業になった事情。
 - ▲：交通安全施設270万円減額は段差解消工事中、昨年度の延長上歩道カラー舗装工事が予算計上していたものの、県から認められなかったことによる減額。
- ◎：一般寄附金の内、ふるさと納税370万円12名の内訳。
 - ▲：東京の方5名、県内2名、県外5名の12名うち、東京の1名の方から300万円を湯沢の観光振興にとして寄付をいただいた。
- ◎：除雪対策費：消雪施設整備費の補正1,100万円は、少雪から既設予算の範囲内で対応できたのではない。
 - ▲：除雪対策費の消雪施設修繕料1,100万円、経年劣化から井戸ポンプ3台分修繕する補正である。また、既設予算7,400万円は機械施設の電気、修繕料
- ◎：中学校建設基本構想500万円の予算に対して30万円の増額補正理由。
 - ▲：中学校建設基本構想500万円が執行されなかったことは残念と思っている。高校跡地を保育園、小学校を含め早急につめ予算要求したいが、基本構想、場合には実施設計含め対応していきたい。
- ◎：文化財の一般管理費中、大和神楽の保存会費は補助金を必要なくなったのか。
 - ▲：湯沢町、南魚沼市の広域計画協議会の“ふるさと基金事業”からの財源を利用することで一般会計が不要となった。
- ◎：中学生海外派遣事業は景気低迷から参加者が減ったのか。その対策は。
 - ▲：景気低迷の影響も考えられるが、進学問題のある3年生からも影響があるのではない。今後対象者を2、3年生とし、その後は2年生をして進学問題をクリアしたい。
- ◎：中学校建設基本構想500万円の予算に対して30万円の増額補正理由。
 - ▲：中学校建設基本構想500万円は執行されなかった。今後の見直しは。